

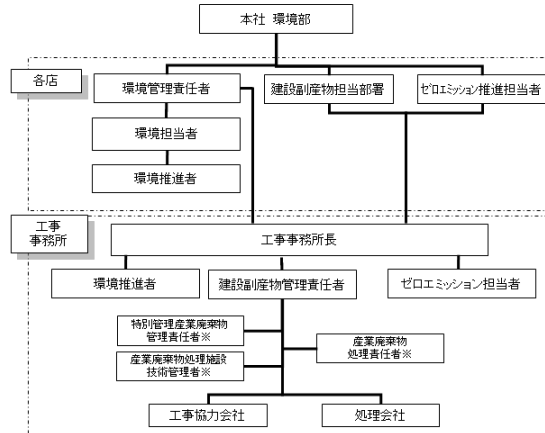
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2021年 6月 30日	
和歌山県知事 殿	
提出者 住 所 大阪市北区中之島3-6-32 ダイビル本館 氏 名 株式会社大林組 大阪本店 取締役副社長執行役員大阪本店長 村田俊彦 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 06-6456-7154	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社大林組 大阪本店
事業場の所在地	大阪市北区中之島3-6-32ダイビル本館
計画期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	6 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 3,745百万円
③ 従業員数	2,070人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[施工・発生] --> B[保管] B --> C[収集] C --> D[中間処理] D --> E[最終] D --> F[再生] </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	混廃	
	排出量	45.7 t	9.7 t	193.3 t	6331.6 t	136.5 t	
	（これまでに実施した取組） ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定 ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等） ・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	混廃	
	排出量	45 t	10 t	150 t	6000 t	100 t	
	（今後実施する予定の取組） ①新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定 ②産業廃棄物の削減方法 ・ 施工方法の検討による廃棄物の削減（鋼製型枠材の使用等） ・ 梱包材の削減（メーカーへの簡易梱包依頼等）						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ①新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値設定し、混合廃棄物の排出量を低減することにより分別を促進する。 ②コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、廃プラ、石綿含有建材等

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度（ - 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組) -					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) -					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度（ - 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
(これまでに実施した取組) -						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) -						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（ - 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組) -					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) -					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	混廃
	全処理委託量	45.7 t	9.7 t	193.3 t	6331.6 t	136.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	35.7 t	8.9 t	9.6 t	181.6 t	136.5 t
	再生利用業者への処理委託量	44.4 t	6.8 t	193.3 t	6150.0 t	102.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④広域再生指定を受けているメーカーとの契約（石膏ボード等）					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（ - 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組) -					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) -					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（ - 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-	-
	全処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t
	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	- t	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組) -					

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	混廃	
	排出量	45 t	10 t	150 t	6000 t	100 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	30 t	8 t	5 t	100 t	100 t	
	再生利用業者への処理委託量	45 t	10 t	150 t	6000 t	100 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) ①リサイクル率の目標値設定 ②ゼロエミッション活動の推進 ③再資源化ルートの確立 ④優良認定処理業者の選定 ⑤広域再生指定を受けているメーカーとの契約 (石膏ボード等)						
※事務処理欄							